

「農村における太陽光発電システム-営農型太陽光発電・木製架台-」開催のご案内

平成25年11月に成立した「農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律」(農山漁村再生可能エネルギー法)が今年5月に施行されました。これにより、小規模分散型のエネルギーとして期待が高まる再生可能エネルギーと非常に親和性が高い農業分野においても太陽光発電システムが大量に普及することが考えられます。一方、わが国の電力の一部をになうべく普及が進められている太陽光発電システムは、1つの太陽電池モジュールの出力は小さいものの、3kW、4kWの小型家庭用システムでさえ、電圧は100Vを超え、感電事故、漏電事故、火災などの事故につながる可能性があります。また、太陽光発電システムをより信頼性のあるものとするためには、架台の材料や設計、耐久性、腐食性、メンテナンス性、雑草防除なども重要な課題となって来ます。

本セミナーでは農業分野への太陽光発電システムの一層の普及に資するため、太陽光発電システムの作物等への影響をはじめ、農村での太陽光発電システムの設置に関する留意事項などを報告し、今後の課題を討論します。

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 太陽光発電部会/太陽光化学・バイオマス部会共催

協賛(順不同)：(一社)エネルギー・資源学会、(一社)日本エネルギー学会、(一社)電気学会、(一社)電気設備学会、

日時：平成26年10月31日(金) 13:00~18:00

会場：東京理科大学森戸記念館・第2フォーラム(JR飯田橋駅徒歩6分/神楽坂・毘沙門天向側の福屋・鳥茶屋路地20m)

定員：70名(先着順)

参加費：会員(主催・協賛学協会員) 5,000円、非会員10,000円、学生3,000円(テキスト含む)

参加方法：参加申込書またはホームページ掲載の申込書にご記入のうえ、日本太陽エネルギー学会事務局まで

E-mail, FAXにてお送りください。参加費は出来るだけ事前振込をお願いいたします。

[振込口座：三菱東京UFJ銀行・新宿中央支店・普通・3227375 [イッパソジャソウジソホソタイヨウエネギーカウイ]

お申し込み者への参加証等の送付はありません。当日会場までお越しください。

申込期限：平成26年10月24日(金)

問い合わせ先：日本太陽エネルギー学会 事務局 電話03-3376-6015 FAX 03-3376-6720

E-mail: info@jses-solar.jp URL: http://www.jses-solar.jp

講演プログラム(講演者敬称略、演題名・講演者・講演順は変更になる場合があります)

13:00~13:05	開催挨拶	太陽光化学・バイオマス部会長	埴 藤徳
13:05~13:45	農山漁村への太陽光発電の普及 - 「農山漁村再生可能エネルギー法」のねらいと概要-	農林水産省	杉本昌英
13:45~15:05	ソーラーシェアリングと歴史とその展望	CHO技術研究所	長島 彬
	休憩 15:05~ 15:15		
15:15~15:55	ソーラーシェアリング用太陽光発電システム	(株)Loop	鍋木光広
15:55~16:35	太陽光発電システム用木製架台の可能性	住友林業(株)	熊川佳伸
16:35~17:15	太陽光発電システムの構造事故事例	(有)吉富電気	吉富政宣
17:15~17:55	太陽光発電システムへ加わる荷重	東北大学	植松 康
17:55~18:00	閉会挨拶	太陽光発電部会長	杉原裕征

参加申込書

FAX 03-3376-6720 E-mail: info@jses-solar.jp 一般社団法人日本太陽エネルギー学会
(〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-44-14)

「農村における太陽光発電システム-営農型太陽光発電・木製架台-」参加申込書	
参加者(複数名記入可)：	
勤務先(学校名)：	
住所：〒	
電話・FAX：	E-mail：
会員種別	<input type="checkbox"/> 会員(主催・協賛) <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 学生
請求書	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 なお、領収書は当日お渡し致します。

E-mailでお申込のときは必要事項をご記入のうえ送信ください。